

# きずな協働体通信

このコーナーでは、市内7地区で設立された「きずな協働体」の活動やイベント情報を紹介します！

すきむらづくり  
協議会

## 健康増進と協議会の団結力強化！ゴルフ大会開催！

3月10日に、ジェイズカントリークラブ小林コースで、第1回すきむらづくり協議会ゴルフ大会を開催しました。当協議会では2年に一度須木区域全体の運動会を行っていますが、その間となる年は、ソフトボールやミニバレー大会を開催していました。今回、ソフトボール大会に代わる企画として、親睦と融和を目的にゴルフ大会を開催したところ、すきむらづくり協議会会員の老若男女46人が参加。当日は、あいにくの雨模様で肌寒い中でしたが、好評で、珍プレーが続出し和気あいあいとした楽しい一日となりました。



団体賞や個人賞を数多く受け、表彰が行われた懇親会は大変盛り上がった有意義な会となりました

## 野尻で暮らしてみませんか？

輝けフロンティアのじりでは、古民家をリノベーションして平成29年11月から移住促進の取り組みを進めています。施設の名称は「フロンティア荘」です。家庭菜園が体験でき収穫もできること、また、約32畳の広いリビングがあることもフロンティア荘のユニークな特徴です。本年度は既に7組の申し込みがあり滞りませんでした。うち2組は現在具体的に移住を検討されています。

輝けフロンティア  
のじり



広々としたフロンティア荘のリビング。田舎暮らしや移住に興味のある人にどんどん紹介してください

これからの、自然あふれる野尻にしかない魅力を創り出し、移住促進と定住に取り組んでまいります。

にっこば  
まちづくり協議会

## 「西幸夜市・ふれあい食堂」を開催！

2月23日に西小林地区公民館にて、2か月に1回開催されている「西幸夜市」と「にっこばふれあい食堂」が行なわれました。2月にしては暖かく、多くの人でにぎわいました。地元の野菜や漬物、お菓子、雑貨などのお店が、女性部会の「にっこば工房」による煮物やおにぎりも人気で完売。一晩だけの本屋さんコーナーは小学生出店の本屋さん大人気でした。また「にっこばふれあい食堂」では、毎回カレーライスと小さなおかずを提供しています。ガスで炊いたごはんもおいしいと評判です。4月から2か月に1回開催する予定です。お楽しみに！



会場を訪れた人々からは、「カレーライスおいしいね！」と好評でした



マンゴー生産で農林水産大臣賞 受賞  
おりた おさみ  
折田 長美 さん(48)

## 徹底した品質管理で、 高品質なマンゴーを安定して収穫。 飽くなき探求心で、経営拡大を計画中。

太陽のタマゴ。完熟マンゴーの中でも、厳しい基準をクリアしたものに与えられる称号だ。県内有数のマンゴー産地である野尻地区で、収穫量の半分は太陽のタマゴとして収穫されるほど、高品質なマンゴーを栽培している人がいる。折田長美さん、48歳。徹底した栽培管理やマンゴー部会の活動が認められ、2月に行われた県農産園芸特産物総合表彰式の果樹部門で、最高賞の農林水産大臣賞を受賞した。「私の活動だけではなく、みんなの協力があったからこそ

の受賞だと思っています」。折田さんは、36歳からメロン・ピーマンと並行してマンゴーの栽培を始めた。「当時はマンゴーが注目され、周りの農家も栽培していたので挑戦しました」。マンゴー栽培を始めた当初は、失敗も多かった。温度管理を誤り収穫量が減少するなど苦悩することもあった。そこで折田さんは、メロン栽培で培ったノウハウとトマトやリンゴなどマンゴー以外の栽培方法を活用。加えて、マンゴー部会の協力もあり、現在のような高

品質なマンゴーを安定して収穫できるようになった。「いいと思った方法は何でも取り入れます。初めての方法でも、不安より期待の方が大きいんです」。3年前に、マンゴー栽培のみの経営に切り替えた。現在は、経営拡大を計画しているという折田さん。「今でも分からないことが多くあります。毎日が勉強です」と今でもマンゴー栽培に余念がない。マンゴーの収穫の最盛期はこれから。折田さんの情熱と愛情が詰まったマンゴーが、今日も店頭に並ぶ。



写真④より安全安心な生産工程となるよう、県の担当者などと意見交換 ⑤一つの枝についた実を間引き、残した実木の栄養を集中させる ⑥優れた技術を現場で学ぶため、県立農大の学生が視察に。さまざまな質問が飛び交っていた

小林  
こばやしびと  
Vol.87